

2021

日本キャリア教育学会 第43回 研究大会

The 43th Conference of Japanese Society for the Study of Career Education

11 | 6_{SAT} · 7_{SUN}

大会プログラム

未来社会に生きるキャリア教育の可能性
ーキャリア教育の現在、過去・未来をつなぐものー



ごあいさつ

第 43 回研究大会実行委員長
金沢工業大学 白木 みどり

深秋のみぎり、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本キャリア教育学会第 43 回研究大会開催に際し、皆様からは、多大なるご支援ご協力を賜りましたことに心より御礼を申し上げます。

さて、2 年近くに及ぶコロナ禍において、私たちの日常生活は大きく揺るぎ、社会システムは急速な変化を遂げています。そして、この不安な状況下で人類は英知を集結させ、未曾有の事態との対峙を続けてきました。連日、痛ましい報道を耳にする傍ら、ワクチンや治療薬の開発が進み、その効果が報告されるようになりました。一方で、この夏、開催の是非を超えて、東京オリンピック、パラリンピック 2020 におけるアスリート達の逞しく純粋で果敢な挑戦に、人間の可能性への畏敬とともに多くの感動を覚えました。いずれにおいても、現状を打破し、新たな未来を創造していく人間力に讃仰の念は絶えません。そして、この力こそが、複雑、多様に流動する不確実性の社会に求められるのであらうと考えます。

OECD（経済協力開発機構）が、2015 年から進めてきた **OECD Future of Education and Skills 2030 プロジェクト（Education 2030 プロジェクト）** が、その成果として「ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）」（**OECD Learning Compass 2030**）を示しています。過去からの自己を省察しつつ、よりよい未来の創造に向けて自己の判断と責任のもとに行動することを通してキャリア形成を促進する、まさに個人・社会のウェルビーイング（well-being）に向かうための道標といえます。現在、大きな社会変革の過渡期にある教育においては、Society5.0 の未来社会を生きる子ども達に必要なコンピテンシーに対する私たち大人の意識改革と育成のための多様なアプローチが求められます。キャリア教育の過去に学び、未来を展望する現在、私たちには、どのような教育を展開していくことが求められるのでしょうか。

コロナ禍においての研究大会は、ウェビナー形式での開催を余儀なくされましたが、多様な研究成果のご発表の中から、皆様には、共に考え交流し議論の種を拾って頂くことができれば幸いに存じます。また、本研究大会では、基調講演の講師に金丸雄介氏をお迎えし、「私の進路選択からのキャリア形成」と題し、柔道家としてのアスリートに至るまでの自らのキャリア形成、また、ナショナルチームの指導者としての経験をリアルタイムで拝聴する機会をご用意しました。次いで、実行委員会企画シンポジウム「キャリア教育の現在、過去・未来をつなぐもの」では、教育、医療福祉、経済の各界でご活躍されている方々をシンポジストとしてお招きしています。今後のキャリア教育について、多様な視点からご提案を頂けるものと思います。本研究大会の開催にご参加される皆様、ご協力頂いた関係各位のご厚恩に拝謝申し上げます。

2021 年 10 月吉日

日本キャリア教育学会第 43 回研究大会実行委員会
委員長 白木 みどり（金沢工業大学）

1 研究大会日程

1 日目 11 月 6 日（土）	
12:00～12:45	理事会 オンライン会議
13:00～13:15	開会行事
13:20～14:30	基調講演 「私の進路選択からのキャリア形成」 講師：金丸 雄介 氏（了徳寺大学准教授） ・ 2001 ミュンヘン世界柔道選手権大会 73 kg 級 銀メダル ・ 2007 リオデジャネイロ世界柔道選手権大会 73 kg 級 銅メダル ・ 2008 北京オリンピック競技大会 73 kg 級 7 位 ・ 日本オリンピック委員会強化スタッフ ・ 全日本柔道男子シニアコーチ（2008-2021）
14:30～14:40	休憩
14:40～16:10	大会実行委員会企画シンポジウム テーマ「キャリア教育の現在、過去、未来をつなぐもの」 コーディネーター：三村 隆男 氏（早稲田大学 教授） シンポジスト ： 才 鴈 浩子 氏（金沢市立小將町中学校校長） ： 堀口 寿人 氏（寿心理オフィス代表） ： 小田與之彦 氏（株式会社加賀屋代表取締役社長）
16:20～17:20	2021 年度定期総会（オンライン）

2 日 目 11 月 7 日（日）

8:30～14:15	オンライン分科会
9:00～11:55	個人研究発表（口頭） 個人研究発表（ポスター誌面発表への質疑応答）
12:00～13:00	休憩 （各種委員会 オンライン会議）
13:00～14:15	個人研究発表（口頭） 個人研究発表（ポスター誌面発表への質疑応答）
14:15～14:25	休憩
14:25～16:00	研究推進委員会企画、会員企画シンポジウム
16:00～16:10	閉会行事

2 参加要領

■研究大会参加費

2021 年 10 月 15 日(金)までに、第 43 回研究大会ウェブサイトで参加申し込みフォームにご記入の上、参加費用をお振込ください。振込が確認できましたら、参加予約手続き完了とさせていただきます。オンラインでの開催のため、事前に登録が必要であり、当日参加はできません。

一般会員	5,000 円（発表論文集代込み）
学生会員	3,500 円（発表論文集代込み）
非会員（一般）	6,000 円（発表論文集代込み）
非会員（学生）	5,000 円（発表論文集代込み）

■大会の参加方法

- ・大会は Zoom のウェビナーとミーティングを使用します。Zoom アプリをインストールしておいてください。すでにインストールされている方は最新版にアップデートしておいてください。
- ・事前にお知らせした URL をクリックするか、アプリを立ち上げて、「参加」ボタンをクリックし、ID とパスコードを入力してください。
- ＊参加者の皆様には、全体会、各分科会の Zoom の URL、ID、パスコードの一覧を郵送またはメールでお知らせ致します。
- ・参加される方は、ご自身の Zoom 画面に、所属、氏名を必ずご提示ください。
- ・発表に対する質疑応答や、講演、シンポジウム等の感想やご意見を、Zoom のチャット機能を使って投稿することができます。
- ・参加者には、事前に発表論文集をお届けします。その際に、全体会、各分科会の Zoom の URL、ID、パスコードの一覧を同封いたします。

＜接続テストについて＞

- ・10 月 30 日（土）の 13 時から 16 時にオンライン接続テストを行います。接続テストの Zoom の URL、ID、パスコードについては、事前にお知らせいたします。

3 基調講演

2021 年 11 月 6 日（土）13:15～14:25

■演題

「私の進路選択からのキャリア形成」

■講師 金丸 雄介氏

<プロフィール>

- ・了徳寺大学准教授
- ・2001 ミュンヘン世界柔道選手権大会 73 kg級 銀メダル
- ・2007 リオデジャネイロ世界柔道選手権大会 73 kg級 銅メダル
- ・2008 北京オリンピック競技大会 73 kg級 7 位
- ・日本オリンピック委員会強化スタッフ
- ・全日本柔道男子シニアコーチ(2008-2021)



■概要

今夏に東京 2020 オリンピックが開催され、アスリートたちの活躍が大きな話題となりました。アスリートの多くは、目標を設定し、計画的にパフォーマンスを向上させ、結果を手にする資質や能力を持っているにも関わらず、セカンドキャリアの問題を抱えることは少なくありません。私は 2008 年に北京オリンピックに男子柔道 73 kg級に出場しました。そして、北京オリンピックを最後に柔道の現役選手を引退しました。現在は千葉県浦安市にある了徳寺大学で教員として働きつつ、現役引退直後から 2021 年 9 月までの 13 年間、全日本柔道連盟で男子のシニアコーチを務めてきました。東京 2020 オリンピックでは、コーチとして 73 kg級大野将平選手、81 kg級永瀬貴規選手を担当し、両選手の目標であった金メダル獲得を傍で見届けることができました。私自身は、セカンドキャリアへの転身がスムーズにいった方だと思います。その要因は、戦略的にキャリアを形成してきたこと、周囲の人たちからの的確な導きが得られたことだと感じています。今回の講演では、私自身のキャリア形成について、「現在」、「過去」、「未来」に分けてお話させていただきたいと考えています。

「現在」柔道選手(トップアスリート)としてのキャリアや引退後の仕事(セカンドキャリア)について

「過去」現在に至るまでの進路選択の過程や小さな頃の夢や目標、環境について

「未来」今後の私の目標や夢

さらに、全日本柔道男子のコーチとして、多くのトップアスリートと関わってきた経験から見てきた夢や目標を叶えるために必要な資質・能力、そしてトップアスリートが掲げる高次元の目標の達成につなげるコーチングについても触れていきたいと思っています。

4 実行委員会企画シンポジウム

日時：2021年11月6日（土）14:40～16:50

■テーマ「キャリア教育の現在、過去・未来をつなぐもの」

■コーディネーター：三村 隆男 氏（早稲田大学 教授）

■シンポジスト

：才 鷹 浩子 氏（金沢市立小将町中学校校長）

：堀 口 寿人 氏（寿心理オフィス代表）

：小 田 與之彦 氏（株式会社加賀屋代表取締役社長）

■企画趣旨

2015年9月、国連サミットは、国連加盟国193か国が掲げた地球規模の持続可能な開発目標(17の目標と169のターゲット)としてSDGsを採択しました。そして、この目標達成に向け、「SDGsの新しく普遍的なアジェンダの実現に向かう決意」が表明されました。一方、今後、我が国が目指すべき社会として、第5期科学技術基本計画において提唱されたのが、Society5.0の実現です。AIのビッグデータ解析により、ロボットや自動走行車の技術活用を通じて、持続可能な社会の実現とともに経済発展と社会的解決を両立することをコンセプトとするものです。この地球規模での急速な変革の過渡期に、教育においては、次代を生きるために必要なコンピテンシー(competency)に対する意識改革が急がれます。また、その育成の過程における原動力ともなり得る価値観形成においては、その時々でのマジョリティが常識として容認してきた価値観の一方で、それに対するクリティカルな思考と柔軟な対応が求められます。

折しも2020、2021年と、未知の感染症パンデミックは、人類を脅かす歴史的有事を招いております。With CORONA、After CORONAをどのように生きるか。問題の山積する不確実性の社会で、キャリア教育が重視してきた社会・職業への移行、社会的・職業的自立に必要とされるコンピテンシーをどのように考えればよいのでしょうか。

今後、激動の世界に生きていく次世代のために、過去に学び、現在と未来をつなぐキャリア教育の在り方について、実行委員会企画シンポジウムでは、教育、医療福祉、経済等、多面的な視点からご提案を頂きます。

ご参会される皆様にとっても、意義ある情報交換、意見交換の機会となることを願っております。

5 個人研究発表（口頭発表）

日 時：2021 年 11 月 7 日（日） 9：00 - 14：15

■口頭発表の形式

発表者は、指定の発表時間の 10 分前までに、ご自分の Zoom ミーティングルーム（第 1 分科会～第 5 分科会）に入室し待機してください。その後、モデレーターの進行により、プログラム順に発表を行ってください。

○発表時間

発表 15 分、質疑応答 8 分、交代 2 分（計 25 分）です。発表者が発表時間帯を指定することはできません。順番はプログラムを確認してください。

○補足資料

補足資料を提示される方は、Zoom の「共有」ボタンをクリックして資料の共有を行ってください

○発表言語

発表言語は日本語とします。

○そ の 他

- ・「発表論文集への論文掲載」「発表」「質疑への応答」の 3 つの条件を満たすことにより、公式発表と認められます。
- ・口頭発表、ポスター発表の種別を問わず一人一回です。ただし、発表連名者と会員企画シンポジウムにおける司会者、話題提供者、指定討論者についてはこの限りではありません。
- ・発表責任者欠席の場合は「発表取消」になります。ただし、連名発表の場合に限り、大会実行委員長の承認を経て、発表連名者の方が代わりに発表することができます。この場合、発表ができる者は学会員に限ります。発表者の欠席や変更などは、大会実行委員会事務局までご連絡ください。

■口頭発表プログラム

分科会1

モデレーター 午前：三村 隆男(早稲田大学)

モデレーター 午後：京免 徹雄(筑波大学人間系)

発表 番号	時間帯	発表者	題名
1-1	9:00- 9:25	○土元 哲平 (立命館大学OIC総合研究機構)	転職における相互行為についてのTAEステップによる分析—日本人学校の初任教員の転職を事例として—
1-2	9:25- 9:50	○藤田 駿介 (筑波大学大学院)	ドイツ・ギムナジウムでのキャリア教育における学校段階間の連続性の確保—バーデン＝ヴュルテンベルク州の2016年版教育計画への改訂に着目して—
1-3	9:50-10:15	○石嶺ちづる (高知大学) 芦沢 柚香 (筑波大学大学院)	米国のハイスクールにおける新たな大学進学層への支援施策の特徴—キャリア・パスウェイを事例として—
1-4	10:15-10:40	○岡部 敦 (札幌大谷大学)	School to Work からSocial Inclusionへ—カナダ・アルバータ州における高校中退対策—
1-5	10:40-11:05	○峯 啓太郎 (筑波大学大学院)	韓国中学校におけるキャリア教育の推進体制—自由学期における進路進学相談教師を中核としたカリキュラム・マネジメントに焦点をあてて—
1-6	11:05-11:30	○芦沢 柚香 (筑波大学大学院)	1990年代米国オハイオ州のキャリア教育におけるポートフォリオの活用—教科を通じたキャリア・ガイダンス実践との関係に着目して—
1-7	11:30-11:55	○京免 徹雄 (筑波大学人間系)	フランスの特別支援学級におけるeポートフォリオの活用方法—中学校卒業後を見据えたキャリア教育の視点から—
1-8	13:00-13:25	○上西 智子 (立教大学／明治大学)	オンライン海外インターンシップ科目の可能性と実施に向けた課題—「最小限二つの相互作用する活動システムのモデル」の実践からの検討—
1-9	13:25-13:50	○三村 隆男 (早稲田大学) ○宮古 紀宏 (国立教育政策研究所)	キャリア教育を批判的に検討する観点の析出—米国カリフォルニア州におけるキャリア教育改革を参考に—

分科会2

モデレーター 午前：高網 睦美(愛知教育大学)

モデレーター 午後：清水 克博(愛知教育大学)

発表 番号	時間帯	発表者	題名
2-1	9:00- 9:25	○安生 祐治 (特定非営利活動法人日本ライフキャリア協会) 北見 俊則 (一社志教育プロジェクト) 谷 信彦(練馬区立豊玉中学校)	中学校キャリア教育への志共育の導入—志共育授業と立志式が自己認識に及ぼす効果—
2-2	9:25- 9:50	○青木 信一 (大阪市立白鷺中学校)	「未来手紙プログラム」が、中学生のキャリア発達に及ぼす影響
2-3	9:50-10:15	○鬼塚 拓 (宮崎大学教育学部附属中学校)	自己認識を促進する場としての学校教育相談—キャリア・パスポートとの接続—
2-4	10:15-10:40	○足名 笙花 (立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科比較組織ネットワーク学専攻)	現在のフリースクールの問題と外部に開かれたフリースクールの持つ可能性—フリースクール内におけるキャリア形成の試み—
2-5	10:40-11:05	○谷田川 ルミ (芝浦工業大学 工学部 土木工学科教職課程) 栗島 英明 (芝浦工業大学)	持続可能な地域社会を実現するキャリア教育プログラムの開発—離島の中学校における教育実践と効果検証—
2-6	11:05-11:30	○渡邊 邦久 (茨城県立結城第二高等学校)	キャリア・パスポート活用後に生じる不安感について—一定時制三部制単位制高等学校での活用
2-7	11:30-11:55	○清水 克博 (愛知教育大学) 胡田 裕教 (滋賀県立大学) 角田 寛明 (東北学院大学)	学年・教科の枠組みを超えて学びを「まとめ」「つなぐ」キャリア・ポートフォリオの検討—中学校卒業期に用いるキャリア・ポートフォリオの比較を通して—
2-8	13:00-13:25	○中島 弘和 (福岡県立福岡魁誠高等学校)	特別支援学校における就労支援とキャリア教育に関する—考察—K市特別支援学校高等部(知的障害)生徒への一般就労に向けた取り組みに着目して—
2-9	13:25-13:50	○松下 真治 (放送大学 全科履修生) 辻 彰彦 (京都先端科学大学附属中学校高等学校)	A高等学校におけるキャリアコンサルタントによる面接指導について—テキストマイニング手法を用いた半構造化面接で得られた発言内容の分析—
2-10	13:50-14:15	○松本 智春 (川崎市立高津高等学校定時制) 武政 祐 (NPO法人アスリード) 本間 啓二 (日本体育大学)	定時制高校の中退防止や進路実現をめざした校内カフェの効果について—「学校・家庭・職場生活や進路意識」のアンケート調査から—

分科会3

モデレーター 午前：新井 立夫(文教大学経営学部)

モデレーター 午後：永作 稔(十文字学園女子大学教育人文学部心理学科)

発表 番号	時間帯	発表者	題名
3-1	9:00- 9:25	○瀧本 知加 (京都府立大学)	専門学校における職業教育とキャリア教育—コンピテンシー・ベースドな職業教育の実態と課題をめぐって—
3-2	9:25- 9:50	○寺崎 里水 (法政大学) 望 月 未 来 (株式会社FPデザイン)	くらしとお金に着目したキャリア教育の検討—大学生を事例として—
3-3	9:50-10:15	○日高 淳 (国際文化学園／筑波大学大学院)	遠隔授業型カリキュラムが専門学校生のキャリア意識に与える影響—理容美容学科を事例として—
3-4	10:15-10:40	○熊谷 朋子 (宇都宮大学) 南 伸昌 (宇都宮大学) 久保田 愛子 (宇都宮大学) 久保 元芳 (宇都宮大学) 石塚 諭 (宇都宮大学)	多面的な意義を持つ教員養成課程におけるキャリア教育の現状と課題—新入生のキャリアに関する意識に着目して—
3-5	10:40-11:05	○神崎 秀嗣 (秀明大学看護学部)	医療専門職養成における「人体と構造と機能」の理解を促すさまざまな試み
3-6	11:05-11:30	○井上 奈美子 (福岡県立大学)	学生主体の学びあいと職業体験による社会人基礎力向上効果—振り返りと3か月後の面談に注目して—
3-7	11:30-11:55	○永作 稔 (十文字学園女子大学教育人文学部心理学科)	必修キャリア教育科目の新規開設と全学科独自展開への歩み—私立女子大学における専門教育と融合したキャリア教育の実践—
3-8	13:00-13:25	○福田 美誉 (一般社団法人 未来教育推進機構/株式会社 ワークアカデミー) 本田 直也 (大手前大学 現代社会学部)	プロジェクトベースインターンシップの自己評価活動の分析と考察—複数回参加学生の活動と言葉の変化について—
3-9	13:25-13:50	○浅野 浩美 (事業創造大学院大学) 渡部 昌平 (秋田県立大学)	過去のキャリア教育と学生が求めるキャリア支援の関係について—大学生のコメントの計量テキスト分析結果から—
3-10	13:50-14:15	○新井 立夫 (文教大学経営学部) 櫻 井 宏 明 (文教大学経営学部) 石 塚 浩 (文教大学経営学部)	社会的動機の様式 (利己性・利他性・集団性・原理性) におけるキャリア選択の分析—大学生 (2021年度3年生) のキャリア選択の動機・認知様式に関して—

分科会4

モデレーター 午前：寺田 盛紀(京都先端科学大学)

モデレーター 午後：松尾 智晶(京都産業大学)

発表 番号	時間帯	発表者	題名
4-1	9:00- 9:25	○横江 信一(石巻専修大学)	小学校教員の「養成・採用・研修」の一体化に関する一考察 ―「いしのまき教師塾」の実践を通して―
4-2	9:25- 9:50	○寺田 盛紀(京都先端科学大学) 松尾智晶(京都産業大学) 三保紀裕(京都先端科学大学)	内定学生から新入社員への移行過程における職業観の変化― インターンシップ経験と就職後の自己啓発行動の影響 ―
4-3	9:50-10:15	○前田 武司 (京都府立大学/滋京奈地域人材育成協議会)	コロナ禍をきっかけにしたインターンシップのアップデート ―滋賀・京都・奈良地域の大学共同インターンシップ―
4-4	10:15-10:40	○若林 鉄也(法務省長崎刑務所) 清水 敦史(法務省長崎刑務所) 木下 美穂(法務省長崎刑務所)	再犯防止に資するキャリア教育・職業教育の取組について― 矯正施設における就労支援等の実施内容等の考察から―
4-5	10:40-11:05	○秋山 和雄 (大阪バイオメディカル専門学校) 宮坂 吉有樹(株式会社楽立) 坂本 高英(大阪市立都島第二工業高校) 門川 城二(大阪市立生野工業高校)	地域主権時代における「新しい人物重視型試験」と人材育成 研究(2)
4-6	11:05-11:30	○坂本 高英 (大阪市立都島第二工業高等学校)	大阪府下自治体における「新しい人物重視型試験」と人材育 成の研究―コロナ禍における採用試験の変化に注目して―
4-7	11:30-11:55	○勝又 あずさ(成城大学)	社会正義を志向するキャリア教育の実践と学生の意識形成プ ロセス
4-8	13:00-13:25	○濱中 倫秀(京都ノートルダム女子大学) 三井 規裕(関西学院大学)	私立大学の就職ガイダンスの現状について―近畿圏を対象と した実態調査より―
4-9	13:25-13:50	○佐藤 美輪(仙台青葉学院短期大学)	母親の就労が子どもに与える影響に関する文献レビュー
4-10	13:50-14:15	○榎野 潤 (独立行政法人 労働政策研究・研修機構) 掛川 彰一(甲府刑務所) 村石 卓也(甲府刑務所) 山下 典子(甲府刑務所) 石川 智子(東京大学大学院)	受刑者を対象とした求職活動支援の研究―ビデオ教材を活用 した求職活動支援プログラムの開発―

分科会5

モデレーター 午前：山田 智之(上越教育大学)

モデレーター 午後：家島 明彦(大阪大学キャリアセンター)

発表 番号	時間帯	発表者	題名
5-1	9:00- 9:25	○中島 剛 (千葉経済大学)	就活生のキャリア意識形成プロセスに関する探索的研究—正社員であることをまず求める心理に着目して—
5-2	9:25- 9:50	○青野 也寸志 (宮城県立支援学校岩沼高等学園)	メディアと教育に関係する新たなキャリア教育についての—考察—コロナ禍による現状を踏まえた新たな人材育成を目指すキャリア教育の検討を通して—
5-3	9:50-10:15	○小山 知子 (駿河台大学キャリアセンター) 杉 本 英 晴 (関西大学)	大学生の多重役割に対する変容プロセスの検討—M-GTAによる授業効果の分析—
5-4	10:15-10:40	○三保 紀裕 (京都先端科学大学 経済経営学部) 松尾 智晶 (京都産業大学) 寺田 盛紀 (京都先端科学大学客員研究員)	インターンシップ経験が入職後の初期適応過程に及ぼす影響—プロアクティブ行動に着目した検討—
5-5	10:40-11:05	○石田 百合子 (熊本大学) 新 目 真 紀 (職業能力開発総合大学校)	ペルソナを活用したジョブ・カード作成支援スキル演習の設計及び効果検証
5-6	11:05-11:30	○安里 ゆかし (筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 教育学学位プログラム)	キャリア支援を正当化する論理の解明—ケイパビリティ・アプローチの視点から—
5-7	11:30-11:55	○家島 明彦 (大阪大学キャリアセンター)	大学におけるキャリア教育・就職支援担当者のネットワーキング—国内外の動向調査—
5-8	13:00-13:25	○町田 尚史 (岡山大学) 開 本 浩 矢 (大阪大学)	進路選択自己効力感についての考察—進路選択自己効力感、ソーシャルスキル、EIの関係—
5-9	13:25-13:50	○田中 恵子 (京都情報大学院大学)	キャリア接続を指向するマイクロレデンシャルについての—考察—その新自由主義的傾向への批判的検討—
5-10	13:50-14:15	○宮下 太陽 (立命館大学/株式会社日本総合研究所) サトウ タツヤ (立命館大学)	質的研究法TEAを用いたキャリアの経年的研究—キャリアの経路における時間的展望の役割—

6 個人研究発表（ポスター発表）

日 時：2021 年 11 月 7 日（日） 9：00 - 14：30

■ポスター発表の形式

発表者と待機者は、プログラムの発表番号と在席応答在席時間帯をご確認の上、指定の時間の 10 分前までオンラインポスター質疑対応会場（第 6 分科会、第 7 分科会）に入室して下さい。質問者がオンライン上で質問をされますので、その場で回答をしてください。チャットで質問をされる場合もありますので、チャットも確認し、回答をしてください。

○発表時間

発表は発表論文集掲載の紙面発表とします。

○責任時間

質疑応答の在席責任時間 25 分、待機時間は 25 分です。順番はプログラムを確認してください。

○その他

- ・「発表論文集への論文掲載」「責任時間の在席」の 3 つの条件を満たすことにより、公式発表と認められます。
- ・口頭発表、ポスター発表の種別を問わず一人一回です。ただし、発表連名者と会員企画シンポジウムにおける司会者、話題提供者、指定討論者についてはこの限りではありません。
- ・発表責任者欠席の場合は「発表取消」になります。ただし、連名発表の場合に限り、大会実行委員長の承認を経て、発表連名者の方が代わりに発表することができます。この場合、発表ができる者は学会員に限ります。発表者の欠席や変更などは、大会実行委員会事務局までご連絡ください。

■ ポスター発表プログラム

分科会6

発表 番号	在籍責任時間	発表者	題名
6-1	9:00~9:25	○渡部 昌平（秋田県立大学）	具体的なキャリア形成の効果的な支援に関する探索的研究
6-2	9:25~9:50	○吉倉 英基 （東放学園キャリアサポートセンター）	専門学校におけるガイダンスカウンセリングの探求- 産学共同連携による組織的な学内企業説明会の取組み
6-3	9:50~10:15	○原 瑞穂 （香川大学キャリア支援センター） 日 永 龍 彦（山梨大学）	地方国立A大学の学部生のキャリア意識調査
6-4	10:15~10:40	○勝田 みな（名古屋経営短期大学）	今こそ学生の声に耳を傾けるーコロナ禍での実習を体験して
6-5	10:40~11:05	○末吉 彩香（筑波大学人間系） 柘植 雅義（筑波大学人間系）	自閉スペクトラム症者に対する就労訓練の有効な振り返り
6-6	11:05~11:30	○森本 康太郎（大阪国際大学）	イラショナルキャリアビリーフと就職活動ストレスの関連について
6-7	11:30~11:55	○都築 美代子（立命館大学 社会学研究科）	大学生のラジオ番組制作によるキャリア教育の可能性
6-8	13:00~13:25	○網谷 綾香（大阪成蹊短期大学） 川上 泰彦（兵庫教育大学）	「協働性」を高めるための教員研修の実践
6-9	13:25~13:50	○高橋 徹（実践女子大学）	就職活動時の効果的な自己分析の方法

分科会7

発表 番号	在籍責任時間	発表者	題名
7-1	9:00~9:25	○戸田 里和 (奈良県立大学 地域創造学部) 本田 周二(大妻女子大学) 吉田 真知子(東京聖栄大学) 佐藤 祐子(東京医療保健大学) 伊藤 陽子(山梨学院大学) 岩瀬 靖彦(大妻女子大学)	卒業後のキャリア形成に及ぼす要因の検討その①
7-2	9:25~9:50	○本田 周二(大妻女子大学) 戸田 里和(奈良県立大学) 吉田 真知子(東京聖栄大学) 佐藤 祐子(東京医療保健大学) 伊藤 陽子(山梨学院大学) 岩瀬 靖彦(大妻女子大学)	卒業後のキャリア形成に及ぼす要因の検討その②
7-3	9:50~10:15	○杉本 英晴(関西大学社会学部)	不快情動に対する態度とキャリアに関する資質・能力及び探索活動との関連
7-4	10:15~10:40	○平 真由子(白山市立松任中学校)	中学生の将来に対する行動と個人志向性・社会志向性との関連
7-5	10:40~11:05	○畔田 博文(石川工業高等専門学校) 小菅 清香 (学習院大学人文科学研究所) 萩原 俊彦(東北学院大学教養学部) 杉本 英晴(関西大学社会学部)	高等専門学校におけるキャリア教育を内包した科目教育に関する研究
7-6	11:05~11:30	○小菅 清香(学習院大学人文科学研究所)	大学生における就職活動目標(JSJ)の検討ー就職活動での具体的活動との関わりから
7-7	11:30~11:55	○五十嵐 敦(福島大学)	大学生2年生のキャリア発達における諸要因の検討
7-8	13:00~13:25	○井上 仁志(兵庫県立尼崎稲園高等学校)	知の総合化を目指したキャリア教育の検討
7-9	13:25~13:50	○山口 明日香(高松大学) 前原 和明(秋田大学) 土肥 靖人 (千葉県立特別支援学校 流山学園) 萩原真由美 (サンフランシスコ州立大学) 八重田 淳(筑波大学)	特別支援学校(知的障害)教員の自己決定の捉えに関する研究ー定性分析による概念要素の分析からー
7-10	13:50~14:15	○浦上 昌則(南山大学) 矢崎 裕美子(日本福祉大学) 杉本 英晴(関西大学) 高綱 睦美(愛知教育大学)	計画された偶発性理論は大学進学時の生活の質をうまく説明できるのか

7 研究推進委員・会員企画シンポジウム

日時：2021 年 11 月 7 日（日）14:25 - 16:00

■企画シンポジウムの方法

指定されたメインルームに入り、シンポジスト、コーディネーターが揃ったら、シンポジウムを始めて下さい。参加者のご意見、ご質問など、シンポジウム中のファシリテートは、コーディネーターにお任せ致します。チャット機能などご自由にご使用下さい。

○所要時間

1 時間 30 分（終了後、閉会行事のメインルームに移動して下さい）

○補足資料

補足資料を提示される方は、Zoom の「共有」ボタンをクリックして資料を共有して下さい。

○その他

- ・「発表論文集への論文掲載」「シンポジウム」「質疑への応答」の 3 つの条件を満たすことにより、公式発表と認められます。
- ・企画者欠席の場合は「発表取消」になります。ただし、大会実行委員長の承認を経て、連名の方が代わりに発表することができます。企画者の欠席や変更などは、大会実行委員会事務局までご連絡ください。

■研究推進委員会企画シンポジウム

「教育実践」と「アカデミック研究」を考えるカフェ

話題提供者：杉本英晴（関西大学）

宮原 清（福岡県立西田川高等学校）

山田智之（上越教育大学）

コーディネーター：田村和弘（新潟大学）

企画者：日本キャリア教育学会研究推進委員会

企画趣旨

2019年に研究推進委員会が実施したキャリア教育に対する意識調査の結果、キャリア教育のアウトカム評価の重視度等において、初等・中等教育キャリア群（主に小・中・高等学校で教員として従事する者）、企業他キャリア群（大学事務・企業・行政等に従事）、高等教育研究キャリア群（主に大学・短大等で教育や研究に従事する者）によって、重視する傾向に様々な相違が認められました。

本シンポジウムでは、当該の調査の分析に深く関わられた杉本英晴（関西大学）先生、初等・中等教育キャリア群と高等教育研究キャリア群両群の経験のある研究推進委員会委員長：山田智之（上越教育大学）先生、教育管理職として教員の研究指導にもあたられたご経験のある宮原 清（福岡県立西田川高等学校）先生にご登壇いただき、前述のキャリア教育に対する意識調査のキャリア群によるキャリア教育に対する意識の相違に迫りながら、学校教育現場の「教育実践」と「アカデミック研究」について、会場の皆様とともにカフェ方式で考えていきたいと思っております。

■会員企画シンポジウムⅠ

全国調査「キャリア教育に関する総合的研究」の 第二次分析結果からみえた現状と展望

話題提供者：京免徹雄（筑波大学 人間系）
山田 亮（東洋英和女学院大学 人間科学部）
望月由起（日本大学 文理学部）
有海拓巳（株式会社浜銀総合研究所）
立石慎治（筑波大学 教学マネジメント室）
司 会：藤田晃之（筑波大学 人間系）
企 画 者：藤田晃之（筑波大学 人間系）

企画趣旨

文部科学省及び国立教育政策研究所においては、キャリア教育に関する実態を把握するとともに、それらに関する在校生の意識等も明らかにし、各学校における取組の改善・充実を図るための基礎資料を得ることを目的として、7年に一度、全国調査を実施している。最新の調査は、2019（令和元）年7月～10月にかけて小学校、中学校、高等学校を対象に行われ、その結果は『キャリア教育に関する総合的研究 第一次報告書』として、2020（令和2）年3月に発行された。さらに、同『第二次報告書』では、「カリキュラム・マネジメント」「職業に関する体験活動」「キャリア・パスポート」の3つのテーマを中心に、第一次報告書に基づく再分析やクロス集計等を行っている。

そこで、本シンポジウムでは、その調査結果の分析や報告書の執筆に関わった研究者が、その第二次分析結果から明らかになったことを報告し、キャリア教育の今後の方向性を参加者と一緒に探っていきたい。

■会員企画シンポジウムⅡ

これからのキャリア教育としてのインターンシップの可能性

話題提供者：松高 政（京都産業大学 経営学部准教授/ CIAC 代表理事）

西條秀俊（新潟大学 教育・学生支援機構教育プログラム支援
センター副センター長/CIAC 理事）

企画・司会者：五十嵐敦（福島大学 教育推進機構）

企画趣旨

インターンシップが定着しつつあるようだが、多くの学生が参加しているのは就職活動としてのインターンシップである。企業等との早くからの接点として利用し、就活の早期化・長期化につながっているとの指摘もある。キャリア教育としては以前から職場体験や職場見学などあるが、高等教育においてインターンシップは欠かせないものとされている。企画者は、インターンシップは企業などがプログラムを作成し実施するものであり、公教育として教育機関が目的に沿ってプログラムを作成し企業等と協働で専門教育において展開するのはコーオプ教育ととらえ、専門教育と結びつくものとしてインターンシップの意味を認識している。職業体験は雇用制度や慣習などの違いもあり、キャリア教育としてなじまないと考えている。ついでに、高等教育では「キャリア」を学問として教育することが必要だとも考えている。

インターンシップをそのまま教育課程に位置づけることには、その評価の難しさなどもあり疑問もある。何をもって効果とするのか、就職実績なのか教育成果なのか測定の難しさがある。大学教育の充実こそキャリア教育であり、「ふくらませた職業教育（熊沢, 2006）」が必要なのではないだろうか。また、Kenny（2014）は、若者の人生を左右する背景に目を向けず、学習やキャリア発達に関連する理論や研究を無視したままの改革戦略は必ず失敗するという。効果測定や実証的研究、学術的な根拠の欠如していることの問題点を指摘している。

そこで話題提供者のお二人に教えを乞うことにした。折角なので多くの方々と話題を共有したいと考え企画した。お二人は大学で実践と調査研究に精力的に取り組まれ、国などの委員を務められながら、インターンシップコーディネートにも関わっておられる。そのような立場から、これからのインターンシップはどうなるのか、キャリア教育（とらえ方にもよるが）としてどうあるべきか、そのための課題などお聞かせいただければと期待している。また、国などの会議ではどのようなことが話題になりどのような動きが予想されるのか、可能な範囲で伺えればとも思う。関連学会の動向なども併せて、キャリア教育の視点からどのような研究が求められるのか示唆をいただければと思う。

ずいぶん欲張った企画者のわがままだが、小講演のような形でじっくりお話を伺い、参加いただいた方々との意見交換など通じてこれからの取り組みについて考え、展望できればと願っている。

■会員企画シンポジウムⅢ

キャリア教育と心理的安全性

話題提供者：本田周二（大妻女子大学人間関係学部）

高丸理香（静岡大学国際連携推進機構）

神原歩（京都先端科学大学人文学部）

渡部昌平（秋田県立大学大学総合科学教育研究センター）

司会・企画者：渡部昌平（秋田県立大学大学総合科学教育研究センター）

企画趣旨

「心理的安全性」という概念はハーバード大学のエドモンドソン博士の著書で注目され、近年、組織論や経営学分野で盛んに採り上げられるようになってきました（Google の自社の生産性向上のための調査でも採り上げられています）。心理的安全性とは、職場で誰に何を言っても、どのような指摘をしても、拒絶されることがなく、罰せられる心配もない状態を言うそうです。誰にどのような発言をしても罰せられない「雰囲気」「暗黙の了解」のことを、エドモンドソン博士は「チームメンバーの、このチームは個人間のリスクを取っても安全だという信念のシェア」だと説明しています。

こうした「自由に発言・行動できること」「自由に発言・行動し、周囲に受け入れられること」は、児童・生徒・学生が自らの理想の未来に向けて学び、行動していくキャリア教育の世界でも必要なことなのではないでしょうか。本シンポジウムでは、若者や女性がどんな場面や条件であれば心理的安全性を感じることができるのか、企業や教育機関はどうあるべきなのかという観点にプラスして、若者や女性が自らどういう知識や経験を積むことで心理的安全性を自ら作り上げていくことができるのかということについて、パネリストの意見を踏まえてフロアの皆さんとの情報・意見交換をしてみたいと思っています。

日本キャリア教育学会第 43 回研究大会

主催 日本キャリア教育学会

協賛 和倉温泉 加賀屋

株式会社 実業之日本社

株式会社 NHKエデュケーショナル

株式会社 風間書房

株式会社 図書文化社

東京書籍株式会社

日本教科書株式会社

本研究大会を開催するにあたり、上記の団体より多大なご支援ならびにご協力を賜りました。心より感謝の意を表します。

2021 年 10 月 4 日
日本キャリア教育学会 第 43 回研究大会実行委員会

生きる力を育むキャリア教育、 進路指導を全力で応援します。

★中学生向け教材（学校採用品）★



中学生生活と進路

各都県教育研究団体【編】／公益財団法人日本進路指導協会【監修】

※ホームページ「進路指導 net.」から、年間指導計画案がダウンロードできます。



学習指導要領の改訂に合わせて、大幅改訂を行いました。

- 共通ページをオールカラー化
- 直接書き込めるワークシート（16ページ）を増補。キャリア・パスポートにも対応（テキストは全112ページに）
- ユニバーサルデザインフォントの使用
- Society5.0など時代の変化に柔軟に対応

など

1・2・3学年別／B5判／各112ページ／各定価600円（本体545円＋税）

岩手県・秋田県・山形県・宮城県・福島県・茨城県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・石川県・愛知県・奈良県・滋賀県・島根県・山口県・愛媛県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県・全国版

◎進路学習ポートフォリオ

中学生生活と進路 2022年度版

学級ノート

全国版・いわき版・新潟県版
・鹿児島県版・沖縄県版



B5判／各32ページ

各定価330円（本体300円＋税）

◎授業準備をサポート

中学生生活と進路 2022年度版

教師用指導書

B5判／各160ページ

各定価600円（本体545円＋税）

生徒用テキストの各単元に沿った授業展開例のほか、生徒用テキスト、ワークシート、学級ノート（別売）の本文ページを収録しました。
併せて学校ごとの事情に即して改変可能なダウンロードデータ（Word、A4）への誘導も記載しています。

◎小学校向けキャリア教育テキスト

小学生の いきかた発見ブック



A4判／各48ページ
定価550円
（本体500円＋税）

小学校向けキャリア教育テキストの決定版！将来の生き方や進路を考える題材を数多く取り上げています。キャリア・パスポートにも対応。

株式会社 **実業之日本社** 教育図書出版部

〒107-0062 東京都港区南青山5-11-9 レキシントン青山4F TEL:03-3486-8320

ご注文専用フリーダイヤル（FAX）

0120-273-913

【ホームページ／進路指導 net.】

<http://www.j-n.co.jp/kyouiku/>

あなたの授業で
「NHKスペシャル」「プロフェッショナル仕事の流儀」
「その時歴史が動いた」など、
NHKの番組を活用してみませんか！

NHKの人気番組のDVDを
無料で授業にご利用いただけます。

実際に活用した先生方の
「学習展開例」もダウンロードできます。
詳しくはホームページをご覧ください。



スマートフォンでも
ご覧いただけます

<http://www.nhk.or.jp/archives/teachers-l/>

ティーチャーズ・ライブラリー

検索

教育学関係学術図書のご案内

価格は税込。

現代キャリア教育システムの日仏比較研究

京免 徹雄著 8250円
フランスのキャリア教育について教師、市民性、評価、連携の4つの視点から分析し、日本と比較することで、教師の果たす役割とそれを支えるしくみを解明する。

フランスの学校教育におけるキャリア教育の成立と展開

京免 徹雄著 11000円
フランスにおけるキャリア教育について、その成立から現代に至るまでを制度と実践の両面から検討。進路形成に関する機能の変容とその帰結を明らかにする。

産業教育学—産業界と教育界の架け橋—

三好 信浩著 2750円
著者長年の研究成果から、産業界と教育界の協力を不可欠な新しい学問領域「産業教育学」を確立。刻々と変化していく産業社会に対応するための人間育成論を展開。

サポート資源が進路選択および就職活動に及ぼす影響

水野 雅之著 6600円
大学生はいかにして学校教育の総決算である進路選択と就職活動を乗り越えるのか。その問いに、本書ではサポート資源という観点からアプローチする。

社会教育主事に求められる役割

桜庭 望著 7150円
歴史的背景から社会教育主事制度の変遷を辿り、所属組織やキャリアが資質・能力獲得に与える影響を実証的に研究。今日の社会教育主事に期待される姿を論じる。

高等学校から職業社会への移行プログラムに関する研究

岡部 敦著 8800円
生徒にとって意味ある高校教育とは何か？ 本書は、カナダの事例から、普通教育と職業教育の二重性の実現をめざす教育政策と内容を明らかにし、可能性を検討した。

勤労者のソーシャルサポートと精神的健康に関する研究

片受 靖著 6600円
勤労者のソーシャルサポートと精神的健康との関連について、サポートの送り手にも着目した調査を実施。勤労者の立場に配慮した支援体制の構築を目指す。

発達障害児者のライフプランニングに関する研究

清水 浩著 8800円
発達障害児者の生活を充実させるために必要な人生設計を中心としたライフプランニングについて、支援方法や自立活動の指導との関連の視点からまとめた研究である。

大学生のADHD特性と進路決定に関する実証的研究

篠田 直子著 6600円
大学生のADHD特性に対する進路決定への影響を確認し、質問紙を用いたグループワークを提案。障害学生支援にかかわる関係者に対して、具体的な支援法を開発。

大学生におけるキャリア選択の遅延

若松 養亮著 11000円
大学3年次後半でもなぜ進路の意思決定が出来ないのか、そのような学生への援助はいかにあるべきかについてこれまでの理論と量的・質的データから多面的に迫る。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風間書房

(URL) <https://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

社会正義のキャリア支援

個人の支援から個を取り巻く社会に広がる支援へ

四六判, 344頁 定価2,970円

下村英雄 (労働政策研究・研修機構主任研究員, 日本キャリア教育学会会長) 著

いま, 全世界で広がりつつある,
社会正義=社会的公正を実現するキャリア支援。
本邦初の本格的な概説書。



目次

序章 社会正義のキャリア支援とは
1章 欧州キャリアガイダンス論
2章 多文化キャリアカウンセリング論
3章 社会正義のカウンセリング論
4章 3つの可能なプラクティス①
——深い意味でのカウンセリング

5章 3つの可能なプラクティス②
——エンパワメント
6章 3つの可能なプラクティス③
——アドボカシー
終章 社会正義の実践に向けて

SOCIAL
JUSTICE

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15
<http://www.toshobunka.co.jp/>

図書文化

TEL. 03-3943-2511 FAX. 03-3943-2519

利用
無料 Edu town

未来を担う子どもたちと、それを育む先生のための教育総合サイト

<https://ashitane.edutown.jp/>

Edu town あしたね

全国7,000校110万人が利用するキャリア教育・職業調べサイト

「EduTown あしたね」は、小中高生が「楽しく学ぶ」職業調べサイトです。全国7,000の小中高校、約110万人の小中高生が利用しています。

- 掲載職業数400以上
- 約400人の豊富なインタビュー記事
- 職業ごとのリンク集
- 読み仮名付き
- 授業ワークシートのお届け 調べ学習に対応したワークシートを発送



利用
無料

主な特徴

あしたね仕事人 400人の職業人の仕事・職業インタビュー記事を掲載しています。仕事の内容はもちろん、働いている時の気持ち、生き方や子どもの頃の話もありますので、職業観はもちろん勤労観を養うことができます。仕事人は、職種だけではなく、好き・興味から探したり中学校のクラブ活動から探したりすることもできます。

あしたねクイズ 各教科に関連した内容の4択クイズです。学年に関係なく(大人でも)学べる・楽しめるクイズです。

東京書籍

お問い合わせは事業開発部 Tel:03-5390-7595

ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp>

東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

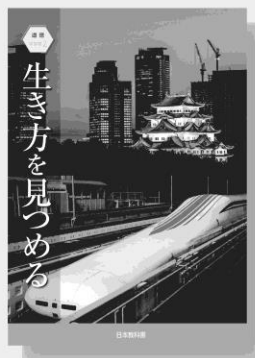
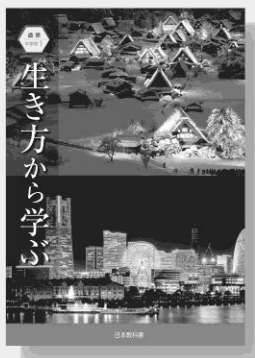
日本キャリア教育学会 第43回研究大会 開催おめでとうございます。

日本教科書は子どもたちのキャリア形成を応援しています。

出会い、ふれあい、学びあう

「生き方」から学び、「生き方」を見つめ、「生き方」を創造する。

これが私達の目指す「道徳」です。



教科書・教師用指導書監修：白木みどり

日本教科書 『道徳通信』 次号予告



巻頭スペシャルインタビュー

柔道日本代表前監督

井上康生さん

才能の見出だし方、
伸ばし方

すぐに使える

特集 年間指導計画



『道徳通信』vol.4(秋号)

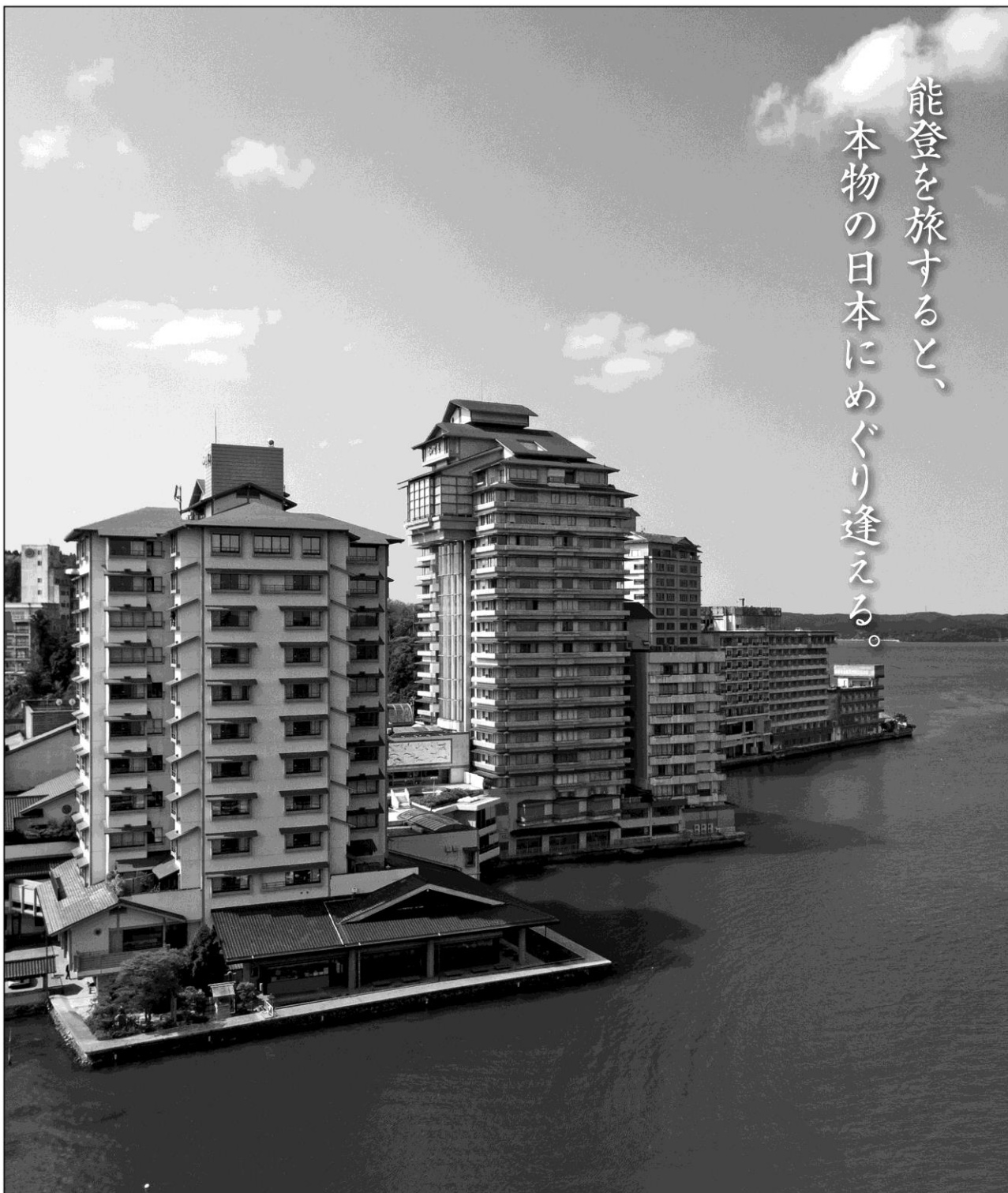
特集 不登校・ひきこもり対策

道徳専門の教科書会社
 **日本教科書**

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-12
TEL 03-3518-6345 FAX 03-3219-0660
<https://www.nihon-kyokasho.co.jp>



能登を旅すると、
本物の日本にめぐり逢える。



能登半島国定公園・和倉温泉
国際観光ホテル整備法 登録旅館(登録第177号)

 **加賀屋**

加賀屋予約センター
TEL.(0767)62-4111

〒926-0192 石川県七尾市和倉温泉 TEL.(0767)62-1111 FAX.(0767)62-1121 <https://www.kagaya.co.jp/>    

 加賀屋別荘
松乃碧
MATSUNOMIDORI

 **加賀屋**

気まま、旅順ライフ
 **中江**

 **金沢茶屋**

台湾・北投温泉
 **加賀屋**

パティスリー&カフェ
LE MUSEE DE H

日本料理
 **加賀屋**

実行委員会組織

実行委員長 白木 みどり（金沢工業大学）

実行委員会事務局長 日向 正 志（白山市教育委員会）

実行委員

稲垣 渉（金沢工業大学） 上野 聡美（金沢市立犀川小学校）

岸 弘市（岸アートライフ研究所） 平 真由子（白山市立松任中学校）

広野 雅子（富山県教育委員会） 高塚 紀子（株式会社 刊広社）

藤田 登（白山市立光野中学校） 堀口 寿人（寿心理オフィス）

松井 由紀（金沢市立富樫小学校） 松田 恵美（小矢部市立大谷中学校）

室井 浩之（白山市立光野中学校） 山田 智之（上越教育大学）

日本キャリア教育学会第 43 回研究大会 大会プログラム

発行日：2021 年 10 月 22 日

発行者：日本キャリア教育学会第 43 回研究大会実行委員会

TEL：076-248-4729

HP: <https://wwwr.kanazawa-it.ac.jp/jssce2021/info.html>